

平成 29 年度入学者選抜学力検査問題

9 時 00 分 — 11 時 00 分 地域デザイン科学部志願者  
(建築都市デザイン学科)

造 形 実 技 (本文 4 ページ)

{ [注意]

1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙は 2 枚ある。「受験番号」は、各々の解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には問題が 2 つある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の枠内に記入すること。所定の枠外に記入したものは、無効である。  
第 1 問は解答用紙(その 1)に、第 2 問は解答用紙(その 2)に解答すること。
5. 黒鉛筆、色鉛筆及び消しゴムは貸与のものを使用すること。
6. 貸与された黒鉛筆、色鉛筆及び消しゴムは持ち帰らないこと。

## 第1問

図1は、平坦な敷地に建つ、4つの建物を上から見た図である。図中の点線は建物の配置を示すための補助線である。建物は全て同じ形をしており、1つの建物の寸法を図2に示す。

図1中のA点から矢印の方向を見た建物と道路の風景を、解答用紙の枠内いっぱい描きなさい。ただし、下記の5つの条件を満たすこととする。

### 条件

- ① A点の地面に立つ人が矢印方向を水平に見た場合の4つの建物が全て含まれる構図とすること。
- ② 窓、出入り口、屋根などの建物の細部や素材を自由に考えて表現すること。
- ③ 植栽、車、人など周辺の状況を自由に考えて描き加えること。
- ④ 色鉛筆で着彩すること。
- ⑤ 定規、コンパスの類は用いず描くこと。

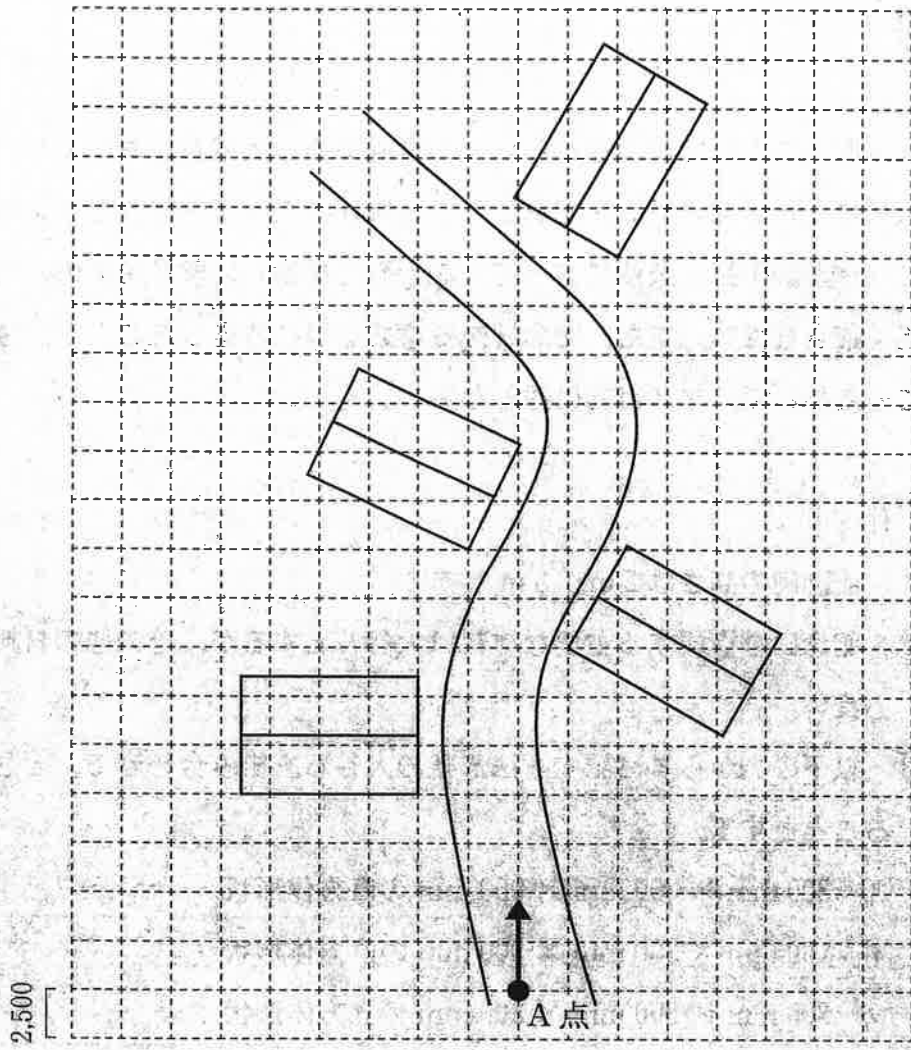


図1 上から見た図

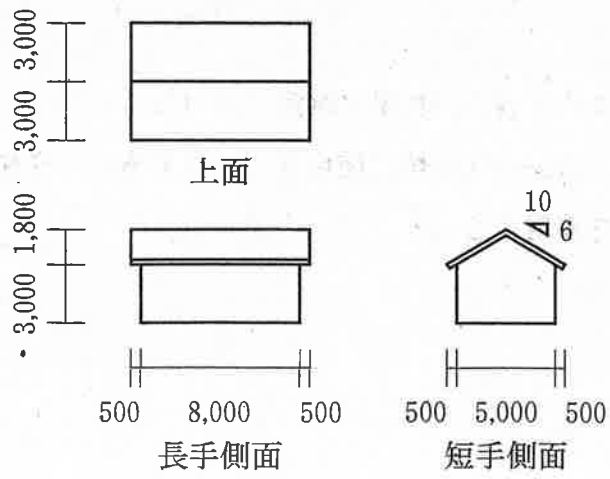


図2 建物の寸法(mm)

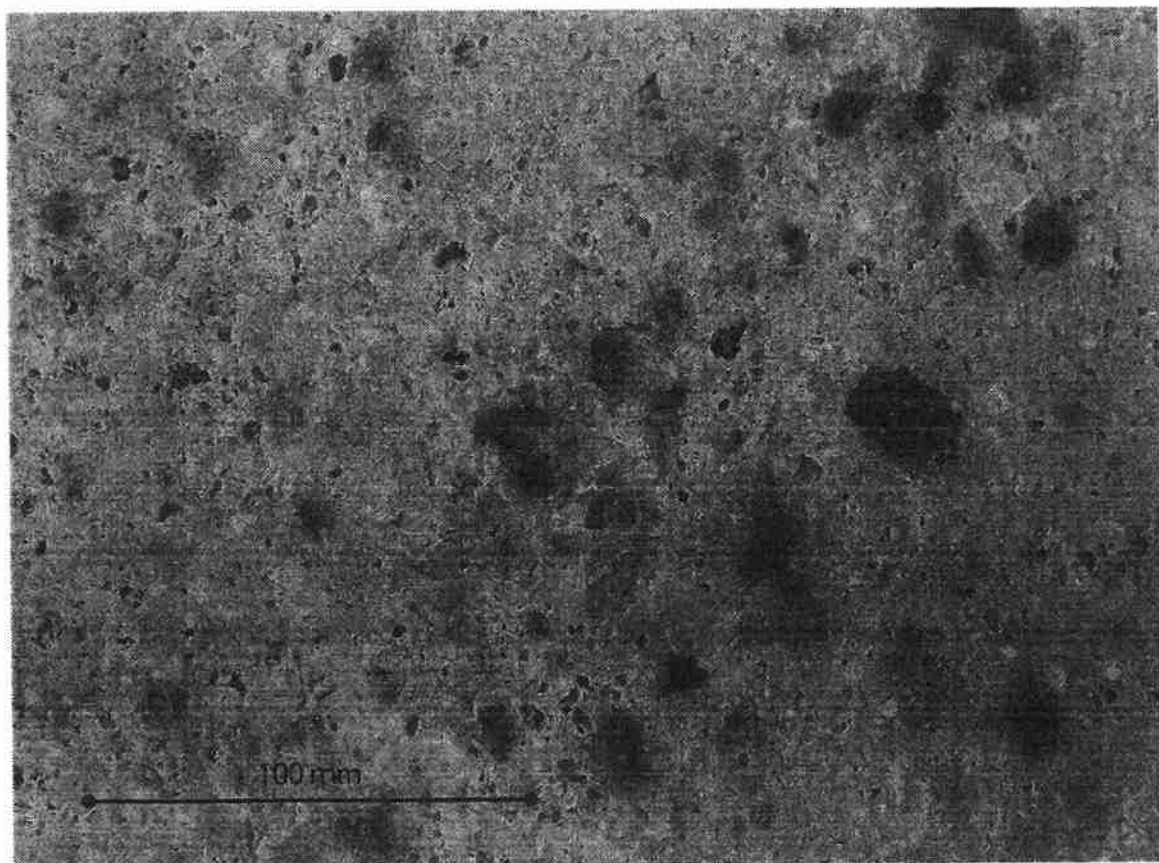
## 第2問

栃木県内において産出される地元の資源である大谷石<sup>おおやいし</sup>を使って、U大学内にあ  
る敷地に、新学部の設立を記念して、地域連携をイメージした記念碑を建てるこ  
とになった。下記の条件に従って、記念碑を提案し、解答用紙の枠内に記念碑を  
大きく描きなさい。また、記念碑を提案する際に考慮したことと、意匠上配慮し  
たことについて、マス目内に述べなさい。

### 条 件

- ① 記念碑の高さは2 m～3 mとする。
- ② 記念碑を構成する主要な材料は大谷石<sup>おおやいし</sup>とするが、その他の材料を使用し  
ても良い。
- ③ 以下の(ア)から(エ)に記す寸法形状の大谷石<sup>おおやいし</sup>を組み合わせて、記念碑を作成す  
ることとする。
  - (ア) 300 mm × 300 mm × 900 mm の直方体形状
  - (イ) 150 mm × 300 mm × 900 mm の直方体形状
  - (ウ) 300 mm × 300 mm × 300 mm の立方体形状
  - (エ) 150 mm × 300 mm × 300 mm の直方体形状
- ④ 上記の(ア)から(エ)に示す全ての寸法形状の大谷石<sup>おおやいし</sup>を必ず一つ以上使用するこ  
と。
- ⑤ 使用する大谷石<sup>おおやいし</sup>の数量に制限は設けない。
- ⑥ 定規、コンパスの類は使用せず、黒鉛筆のみを使用し、素材の質感および  
立体感を表現すること。

<sup>おおや</sup>大谷石：栃木県宇都宮市<sup>おおや</sup>大谷町から産出する凝灰岩の石材。重量が軽く、石質が柔らかい石材。表面には空隙や斑点がある。石蔵などの建築物の外壁、石垣、塀、門柱などに使われる。



<sup>おおや</sup>大谷石の表面